

松蔭 校長室だより

2020年 11月 2日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井宣光

(今年度よりデジタル配信です)

「いかに幸(さいわ)いなことか。神に逆(さか)らう者の計(はか)らいに従って歩まず、罪ある者の道にとどまらず、傲慢(ごうまん)な者と共に座(すわ)らず、主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人」 (詩編1:1~2)

朝のあいさつ運動も再開

校門での挨拶運動の取り組みは、感染症対策のための一斉休校以来中止していましたが、先月から再開しました。全校礼拝日の月曜日、水曜日を除く毎日、生徒会役員が分担して校門に立ち、「おはようございます」と登校する生徒に声をかけます。休校前には、青谷バス停そばにある学校の北通用門からも入構できましたが、現在、正門のみを利用しているので全校生がこちらを通過します。

10月23日には、秋の校外学習を実施しました。中1は丹波篠山の立杭焼と黒豆の収穫作業体験、中2は姫路セントラルパーク、中3は京都嵐山の散策、高1は奈良公園と市街散策、高2は京都東山方面へとバスを利用した日帰りの旅程でした。

放課後の英検対策講座も再開しています。3学期の全校一斉受験に向けて、英検3級から準1級講座まで125名の生徒が学年の枠組みを越えて受講しています。準1級講座の受講生に感想を尋ねると、ネイティブ講師によるオールイングリッシュのエッセイライティングの練習は少し難しいが、がんばりたいとのこと。目標とする級の合格を目指して各自の健闘を祈りたいと思います。学校は今、一つひとつの日常を取り戻しつつあります。校内では、濃厚接触(マスク無し、1m以内での15分以上の会話)の回避と、教室の常時換気を申し合わせおり、関係者全員で常に感染予防を意識しながら学校生活をさらに充実させていきたいと考えています。ご家庭でもご協力をお願いいたします。



<10月27日朝撮影>

「ホームランも神様のちから」 秋の宗教週間に新しい気づきを

「阪神ファンは一番や！」プロ野球のタイガースファンの方ならば、外国人選手が試合後のヒーローインタビューで話すこのフレーズをご記憶されているでしょうか。英語なまりのこのひとは、甲子園を埋め尽くす熱狂的な虎ファンたちの魂を震わせたものでした。今シーズンはジャイアンツの独走状態で、しかも例年行われるクライマックスシリーズ(1~3位チームが日本シリーズ出場をかけて対戦)もセリーグは中止となり、シーズン終幕をいささか盛り上がり欠けたまま迎えることになりそうです。

元阪神のマット・マートン選手は2010年から6年間、外野手として活躍し、首位打者のタイトルも獲得しました。巧みなバッティングはもちろんのこと、闘志あふれるプレーに多くのファンが魅了されました。先日、彼がキリスト教関係の冊子に寄せた一文を読みました。彼は敬虔(けいけん)なクリスチャンの両親のもとで育てられ、幼い頃からキリスト教に触れて育ち、キリスト者としての人生を歩むようになりました。阪神時代には、甲子園でホームランを打ったり、打点を挙げたりして勝利した後のヒーローインタビューではいつも「イエス様が私のちからです」「イエス様ありがとうございます」と締めくくっていました。記事によると、聖書のなかでも特に旧約聖書の「詩編」が好きな箇所だということでした。150章からなる「詩編」は第1節「いかに幸いなことか。神に逆らう者の計らいに従って歩まず、罪ある者の道にとどまらず、傲慢な者と共に座らず、主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人」か

ら始まり、祈りや感謝、神様へ賛美が繰り返されます。キリスト者が「主よ、私と争う者と争い、わたしと戦う者と戦ってください。」(詩編 35:1)の聖句を直球で受けとめたとき、勝負の世界に生きる野球人の心情にちょうど合致しているように感じられます。彼は記事のなか述べています。「私たちが山にいても谷間にいても、人生のどんな局面にあっても、イエスは共にいて私たちに目的を与え、将来に計画をもってくださるのです。」ヒーローインタビューのコメントは、聖書を糧とし厚い信仰のもとに人生を歩む姿をあらためて感じさせてくれます。

本校の入学式では新入生の皆さんに向け、生徒や教職員の出会いについていつも次のように話しています。

「松蔭はキリスト教主義の学校ですので、皆さんはクリスチャンであろうとなかろうと神様の手で、松蔭があなたに一番相応(ふさわ)しい場所ですよ、と導かれたのだ、と考えています。そして私たち教職員は、皆さんとここで出会うことができました。今そのことをとても嬉しく思っています。会うことができ本当に良かったと感じていますし、同時にこれからの学校生活を皆さんと共に頑張っていこうと決意をしています。あなたの家族の他にも、あなたを愛し、応援する先生方がたくさん学校にいます。安心して通学してください。学校生活をともにする仲間たちとの新しい出会いもあります。友をつくり、共に汗をかき、苦難を乗り越えて、一步一步、歩んでいただきたいと思います。」

(2020年4月8日入学式 校長式辞より一部抜粋)

今月は、秋の宗教週間のさまざまなプログラムが予定されています。クリスマスグッズ製作やにじ作業所(障がい福祉サービス事業所)のパン販売、図書館のチャリティブックバザーをはじめとして、ハンセン氏病についての現状と課題を理解するため、映画会(樹木希林さん主演映画「あん」の鑑賞)や医師による講話なども計画されています。マートン選手流に言えば、ホームランは神様の力で打たせてくださったわけですが、生徒たちにとって宗教週間の様々な取り組みが、たとえ小さくとも新しい気付きや学びを得る機会になるならば、これもまた神様の導きによるものだと思います。

11月の行事予定

校内での主な行事の予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

宗教週間のプログラムについては宗教部の先生に尋ねてください。バザーは感染症対策のため中止しています。

11月1日(日) 高3 松蔭特薦(併設大推薦)試験 神戸聖ミカエル教会バザーのボランティア活動

11月2日(月) 内科・眼科検診 中2 体育特別授業(なぎなた) 高3 総合的な探究・映画(環境問題)

11月4日(水) 中1・中3 実力考査 中2 総合「いのちの学習」映画『うまれる』

11月5日(木) 県下一斉緊急地震速報訓練 ダンス部発表会

11月6日(金) お誕生礼拝(11月に誕生日を迎える生徒・教職員対象)

11月7日(土) Blue Earth Project 全国オンラインミーティング①(高1、2の61名。全国から6校が参加)

11月9日(月) 高2 総合的な探究「進路講演会」

11月11日(水) にじ作業所のパン販売(中学生) 中2 総合「いのちの学習」映画『ちづる』

11月13日(金) 宗教週間の全校礼拝 講話「風評被害と人権—ハンセン氏病を通して」(畑野研太郎氏)

⑤校時(中学) ⑥校時(高校)

11月14日(土) 逝去者記念礼拝(チャペルにて 生徒・教職員希望者)

11月15日(日) 中学入試プレテスト(小6児童対象)

11月17日(火) 高2 第2回スタディーサポート

11月18日(水) にじ作業所のパン販売(高校生)

中IDS 総合「カウンセラー特別授業-アサーション講座-」/ GS 総合「竹中大工道具館」見学

11月19日(木) 中2 実力考査

11月21日(土) 中学入試説明会 Blue Earth Project 全国オンラインミーティング②

11月25日(水) 高1、高2 人権教育映画(河瀬直美監督作品『あん』)

11月26日(木) 中1、中3 人権教育映画(同上)

11月27日(金) 中2、高3 人権教育映画(同上)

11月28日(土) 中学入試プレテストアドバイス会(小6児童対象) 器楽・弦楽部演奏会